

東神戸病院 ニュース

2019 年
迎春号
VOL.166

編集・発行：東神戸病院広報宣伝委員会

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1丁目24番13号 TEL 078-841-5731 FAX 078-822-6877
http://k-kyowakai.or.jp/eastkobe/ E-mail: eastkobe-hp@deluxe.ocn.ne.jp

新年のごあいさつ



みなさん。あけましておめでとうございます。本年も、どうぞ、よろしくお願いいたします。

超高齢化社会、格差社会、人口減少が、今の、そして、これからのキーワードになっています。そして、これらのことを背景に「孤立」や「貧困」の問題が大きくなっていると思います。「孤立」や「貧困」は、いろいろな形で健康や寿命に影響を与えていることがわかってきています。そうした面から見ても、「孤立」と「貧困」は治療すべきものだと言えます。

東神戸病院は、2017年1月17日に日本HPHネットワークに加盟いたしました。HPHとは、健康増進活動拠点病院のことで、ヘルスプロモーションを実践するためにWHO(世界保健機関)が1988年に開始した国際的な病院とヘルスサービスのネットワークです。つまり、東神戸病院がHPHネットワークに加盟したということは、疾患の治療だけではなく地域の健康度を高めるために努力をするための医療機関であることを宣言したと言えます。

地域の健康度を高めるためには、やはり「貧困」と「孤立」に対しても取り組むことが必要だと思います。これらの治療の処方箋は、「社会資源をしっかりと活用すること」、「人が繋がることを援助すること」などになるでしょう。そして、さらには社会保障の充実の運動も必要になるでしょう。東灘区全体の健康度を上げるためには医療機関の連携はもとより、それを超えた様々な連携が必要です。今年は連携の質も量も強めていきたいと思います。

東神戸病院は地域に密着した中小病院です。これから増加していく高齢者の病気、特に「誤嚥性肺炎」「心不全」「圧迫骨折」などのトータルケアは中小病院の役割だと考えています。こうした診療の質を上げていくことも今年は力を入れたいと考えています。一方、高度な医療、一定の専門性の高い医療は、地域内の優れた病院と連携をとっていくことが重要であると考えています。地域の中で医療機関が、しっかりと連携をしながら最終的に、患者さんに必要な医療がタイムリーに提供できることが重要だと考えます。

様々な連携の中で、東灘区がより「生きやすい町」になることに少しでも役割を果たせられること。そして、中小病院だから、中小病院でしかできないことを頑張りたいと思います！



院長 遠山 治彦

地域の健康を守り、健康なまちづくりの実現へ

第3回 J-HPH カンファレンス開催

当院は2017年1月に健康増進拠点病院としてJ-HPHネットワークに加盟。今年10月13・14日に開催された第3回J-HPHカンファレンス「人権としての健康とヘルスプロモーション」～アルマ・アタ宣言40周年にあたって～に参加しましたので報告します。

カンファレンステーマは、①健康権を明記したアルマ・アタ宣言の今日的意義を学ぶ。②SDH(注1)改善のための臨床的なアプローチと社会的な解決を図るためのアドボカシーを学ぶ。でした。

基調講演では「カナダにおける健康の社会的決定要因の改善～臨床からアドボカシーまで～」と題し、トロント大学准教授のアンドリュー・ピント氏より、カナダでのSDHに関する過去・現在・そして未来に向けた取り組みを学びました。特に我々医療スタッフは地域の生活・環境データを活用し、健康の不公平に正の効果をもたらす活動・変革を院内でも地域社会でも働かせることができるというものでした。

ワークショップ1では、医療スタッフのための経済的困窮評価支援ツールの紹介。ワークショップ2では、日本国内でもHPHの先駆的な3施設から健康な地域づくりのための活動や評価基準の報告があり学びを深めることが出来ました。

そして、ポスターセッションでは今年4月から外来で取り組んでいる「SDHの視点を取り入れた問診」(注2)のまとめを報告しました。問診対象者は20歳以上の新規患者に限られていますが、4ヵ月集計より喫煙率や食事面では「仕事の都合」「朝は食べない」と言った1日3食を取れていない方が27%。運動習

慣が無い方が47%。うち35%が「運動をしたい」と考えているなど患者さんの生活実態や生活面でのいくつかの課題が浮かび上がりました。

今回は問題の抽出までの報告でしたが、今後は問題原因の聞き取りや実態精査を進め改善・解決策の提起などをおこない、ミクロ(院内)からメゾ(地域)そしてマクロ(社会)レベルへと範囲を広げ地域の皆さんの健康を守り、健康なまちづくりを実現する活動へ発展させていきたいと思っています。

アルマ・アタ宣言から40年が経過した今日、日本では様々な世代で貧困や健康格差が深刻化し、人々の健康権の侵害が広がっています。そうした中で、今回の学びと交流経験を活かし「健康増進拠点病院」として、身体の不調の原因として「病気」だけを診るのではなく、SDHの視点からも患者さんに関わっていききたいと思っています。

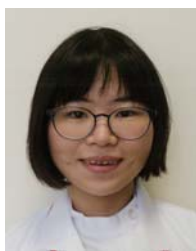
(放射線科・中野 勝行)

(注1)「SDH」：Social Determinants of Health＝『健康の社会的決定要因』

(注2)「SDHの視点を取り入れた問診」＝「喫煙」「飲酒」「栄養」「運動」「経済状況」の5項目の問診を実施。



研修医紹介



かなたに
金谷 実華 医師



初めまして。10月29日から東神戸病院で内科・救急研修をさせていただきます金谷実華と申します。今年の4月から研修医になり尼崎医療生協病院で内科研修を行いました。至らない点が多いですが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いします。趣味は旅行とバイオリン演奏です。

秋の地域訪問（住吉・御影地域）を行って



10月30日・
11月6日に全部
署から職員が健
康ニュース配布
担当地域組合員

さんのお宅にお届けし、病院への意見やお手伝いさせていただくことはないかなど声を伺いに回りました。居場所マップの案内も行いました。

2日間で訪問数388件、対話117件（インターホン含む）、アンケート57件でした。

オートロックマンションでも玄関口まで降りて来られたり、「初めて顔見せてもらって配ってもらったわ」という声や病院の関わりから現在の生活まで30分も話をしてくださった方もありました。「班会やボランティアに関心がある」と言われた方も多くありました。

一方で「病院への距離が遠いので、もうかかっていない」「認知症対応の介護保険サービス教えて欲しい」など具体的な相談もありました。訪問した職員からは「坂道やマンションの階段で高齢者は外出困難になっていることを知った」「地域で集える場所があることを知らない人がいるのでこのような対話が大事だと思った」「機会があれば話を聞きたい普段の仕事に活かしたい」などの感想が聞かれました。生活支援と連携推進を目標に医療にとどまらない相談を受けられるよう地域に出て行く活動を進めていきます。



（組織部・三木美恵子）

胃カメラ検査を受けましょう

神戸市制度の胃がん検診の紹介

胃がんの患者数はがん患者の中で最も多く、13万人以上もいます。

胃がんの**5年生存率は65.3%**。胃がんの自覚症状は、早い段階で出現することは少なく、がんが進行した場合でも、ほとんどみられないこともあります。ただし、早期発見（ステージⅠ）なら**5年生存率は97.6%**で、小さい状態で発見するためには胃カメラ検査を選択することが望ましいとされています。

早期発見のために検診が何より重要です！！

当院でのご利用のながれ

対象・料金

- ・50歳以上で今年度に偶数年齢になる神戸市民の方
- ・50歳以上：2,000円 70歳以上・無料券あり：無料

予約方法

- ・保健予防科（TEL 078-841-5673）へ電話予約（平日 9:00～16:00）
- ・無料券をお持ちの方はお申し出ください

検査

- ・胃カメラ検査実施（月・火・木・金・土の午前）※第5土曜日は休診
- ・経鼻か経口か選択可能
- ・制度健診はピロリ菌検査、鎮静剤（筋肉注射）の使用はできません

結果説明

- ・2週間後以降の水曜午前に来院し、専門医より結果説明（検査日に予約をお取りします）



外来診療体制表 (2018年12月現在)

	受付開始時間	診療時間
午前	8:30～	8:45～12:00
夜間	16:30～	17:00～19:00

診療科目	時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	*遠山 *藤末 *小川 鱸 水江 新患外来	*郷地 *藤末 *滝本 *遠山(隔週) 馬田(隔週) *水間(肝臓病/一般) 新患外来	*大西 *高島 *滝本 *馬田 榎本 新患外来	*滝本 *大槻 *藤末 谷口 新患外来	*武村 *浜中 *山田 *永野 諏訪園 新患外来	*大西【1・3】 *遠山【4】 担当医 新患外来
	午後	*大槻(糖尿病) *大西(緩和ケア)	*郷地(リハ)【1】 *馬田(糖尿病)	*遠山(循環器)	*遠山(循環器) *高島(リハ)		
	夜間	*大西 高島 立岩		藤末 水間		遠山 滝本 大槻	
外科	午前	菅本		菅本		菅本	菅本【1・3】
	午後						
	夜間	菅本					
消化器外科 肛門科	午前		高村		高村		高村【2・4】
	午後			高村 (14:00～16:00)			
	夜間						
整形外科	午前	*藤井(一般あり)	合田	*藤井(一般あり)	合田	*藤井(一般あり)	
	夜間	合田		藤井【1・3・5】 合田【2・4】		合田	
皮膚科	午前			脇田		石川	
	夜間						
小児科	午前	*安藤 (予防接種外来含む)	*森岡		*森岡(新患外来) 【3】	*森岡	*森岡【月2回】 (事前に要確認)
	午後		*森岡	*森岡(喘息特診)		*森岡	
	夜間	*安藤 (予防接種外来含む)		*森岡(喘息特診)		*森岡	
神経心療 内科	午前	*千古	*千古	*千古	*千古	*千古	
	午後			*千古 (ものわすれ外来)	*千古		
	夜間					*千古	

- ・【 】内の数字は第○週目を表しています。
- ・名前の前に*印がついているのは予約診療です。但し(一般)(一般あり)と書かれている場合は一般診療も行っています。

急病の場合はこの時間の限りではありません。お電話にてご相談ください。

特定医療法人 神戸健康共和会 東神戸病院

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1丁目24番13号
電話：078-841-5731
FAX：078-822-6877
健診予約：078-841-5673
ホームページ：<http://k-kyowakai.or.jp/eastkobe/p/>

当院の緩和ケア(ホスピス)病棟へのご入院をご希望される場合は、まずはお電話で
ご相談ください。
相談日時：月・木・金(平日のみ) 14:00～16:00
電話番号：078-841-5731(病院代表につながります)
お電話口で「緩和ケア(ホスピス)相談をお願いします」とお伝えください。

当院向かい側の立体駐車場は営業
終了しました。
近隣駐車場をご利用下さい。

